

# 仕事人秘録

川崎氏は理数教育に力を入れる進学校、福井県立高志高校に進学。当初は大学の医学部を目指した。

大学にいくなら東大か防衛大だ。父はいかにも警察幹部らしい話を私に言っていて聞かせた。つまり国家に貢献する官僚もしくは軍人にならないのなら大学に行く意味はないという。私は作家志望だった。子どものころ、本を読めば祖父や父から小遣いがもたらされた。角川書店の日本文学全集と平凡社の世界文学全集が家に置いてあり、スタンダールやドストエフスキーに感銘を受けた。だが、そんなことを父に

## 未来の予感を形に ④

工業デザイナー

川崎 和男氏



美大進学を応援してくれた母の子ども時代の川崎氏

### 母の応援で美大に進学

びていたイラストレーター  
の横尾忠則さんの作品を見  
て背筋が震えた。こんな表  
現の仕方があるのかと感激  
し、デザイナーという職業  
を知った。  
当時は平凡パンチなどイ  
ラストが豊富な雑誌が世の  
中に出てきたばかり。医学

向かって言い出せばどうな  
るか知れたことだったので  
一計を案じた。作家や歌人  
には森鷗外といひ斎藤茂吉  
といひ医者が多い。まずは  
医者を目指そうと考えた。  
父に話すと「まあ医者なら  
らよいか」という。父にす  
れば東大か京大の医学部を  
目指すと思っていたのだろ  
うが、私はスキーが得意で  
札幌市にある札幌医科大学  
に進学したかった。同大学  
は当時、最先端の心臓移植  
に取り組んでおり「ここで  
しか医学は学べない」と説  
き伏せた。  
札幌医科大学の試験には  
不合格。大阪で予備校に  
通いながら、1年間の浪  
人生活を送った。  
予備校時代、寺山修司が  
主宰する劇団「天井桟敷」  
のポスターなどで注目を浴  
びていたイラストレーター  
の横尾忠則さんの作品を見  
て背筋が震えた。こんな表  
現の仕方があるのかと感激  
し、デザイナーという職業  
を知った。  
当時は平凡パンチなどイ  
ラストが豊富な雑誌が世の  
中に出てきたばかり。医学  
部よりも美術を勉強できる  
大学に気持ちがあつた。  
「美大に進学したい」と  
まず母に相談すると「あな  
たに医者は似合わない」と  
思いがけない言葉が返って  
きた。父は予想通り怒った  
が、母が味方してくれたお  
かげで受験でき、金沢美術  
工業大学に合格した。  
母も父に負けず劣らず肝  
が据わっていた。大学生の  
ころ、母と買い物に行った  
際、母が私に買い与えたの  
は男性用ブレスレットと指  
輪。食事時に私が指輪を着  
けているのに気付いた父は  
「男のくせになんだそれほ  
と食ってかかってきた。と  
ころが母は「この子はデザ  
イナーになるって決めたの  
だから、男にも装身具が必  
要」と引き下らない。  
母は私のデザイナーとし  
ての活躍を知ることなく、  
がんで他界してしまつた。  
私が21歳の時だった。死の  
直前、母は私に「日本一で  
はなく世界一になりなさい  
」と言っていた。死期を  
悟ってからしたためた遺書  
にも「一匹オオカミで生き  
なさい」と記されていた。  
筋金入りの意志の強さを  
持った両親に育てられ  
た。